社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

福岡市西部地域地区都市再生整備計画

平　成　27　年　1　月

福　岡　県　福　岡　市

社会資本総合整備計画

平成27年1月

計画の名称	福岡市西部地域地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成23年度　～　平成27年度　（5年間）	交付対象	福岡市
計画の目標			

大目標　：　知の創造空間”九州大学学術研究都市”の顔となる福岡市西部地域の拠点づくり
目標１　：　都市機能の高質化と交通結節機能の更なる強化により、九州大学学術研究都市の玄関口としてふさわしい地域拠点の形成をめざす
目標２　：　九州大学の知的財産を活用し、知の交流･創造活動を軸とした産学連携・研究開発拠点の形成をめざす
目標３　：　都市機能の充実による生活利便性の向上や更なる安全で快適なコミュニティ形成等により､計画地区における定住促進をめざす

計画の成果目標（定量的指標）

1.駅利用者（JR九大学研都市駅）の乗降客数を8,700人/日(H21) から10,600人/日(H27)に増加させる。
2.バス利用者（昭和バス九州大学線）のバス乗客数を2,050人/日(H21) から2,400人/日(H27)に増加させる。
3.民間等との共同研究実施件数（九州大学における民間等との共同研究）を612件/年（H21）から646件/年（H27）に増加させる。
4.留学生数（九州大学に在学する留学整数）を1,509人（H21）から1,790人（H27）に増加させる
5.地区内の居住人口を27,100人（H21)から28,700人(H27)に増加させる。
6.公民館利用者数（地区内公民館1館あたりの年平均利用者数）を26,200人/年(H21)から26,200人/年(H26)に現状維持させる。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H21)	中間目標値 —	最終目標値 (H27)	備考
1.駅利用者数 JR九大学研都市駅の1日あたりの乗降客数	8,700人/日	—	10,600人/日	当初現況値はH21
2.バス利用者 昭和バス九州大学線の１日あたりのバス乗客数	2,050人/日	—	2,400人/日	当初現況値はH21
3.民間等との共同研究実施件数 九州大学における民間等との共同研究実施件数	612件/年	—	646件/年	当初現況値はH21
4.留学生数 九州大学に在学する留学生数	1,509人	—	1,790人	当初現況値はH21
5.人口の定着 地区内の居住人口	27,100人	—	28,700人	当初現況値はH21
6.公民館利用者 地区内公民館1館あたりの年平均利用者数	26,200人	—	26,200人	当初現況値はH21

全体事業費	合計（A＋B＋C）	8,218.9 百万円	A	8,218.9 百万円	B	0 百万円	C	0.0 百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	0.0%

交付対象事業

A1　都市再生整備計画事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
1-A1-1	都市再生	一般	福岡市	直接	福岡市	—	—	福岡市西部地域地区都市再生整備計画事業	720ha	福岡市						8,218.9	
													小計			8,218.9	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
												合計				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
												合計			0.0	

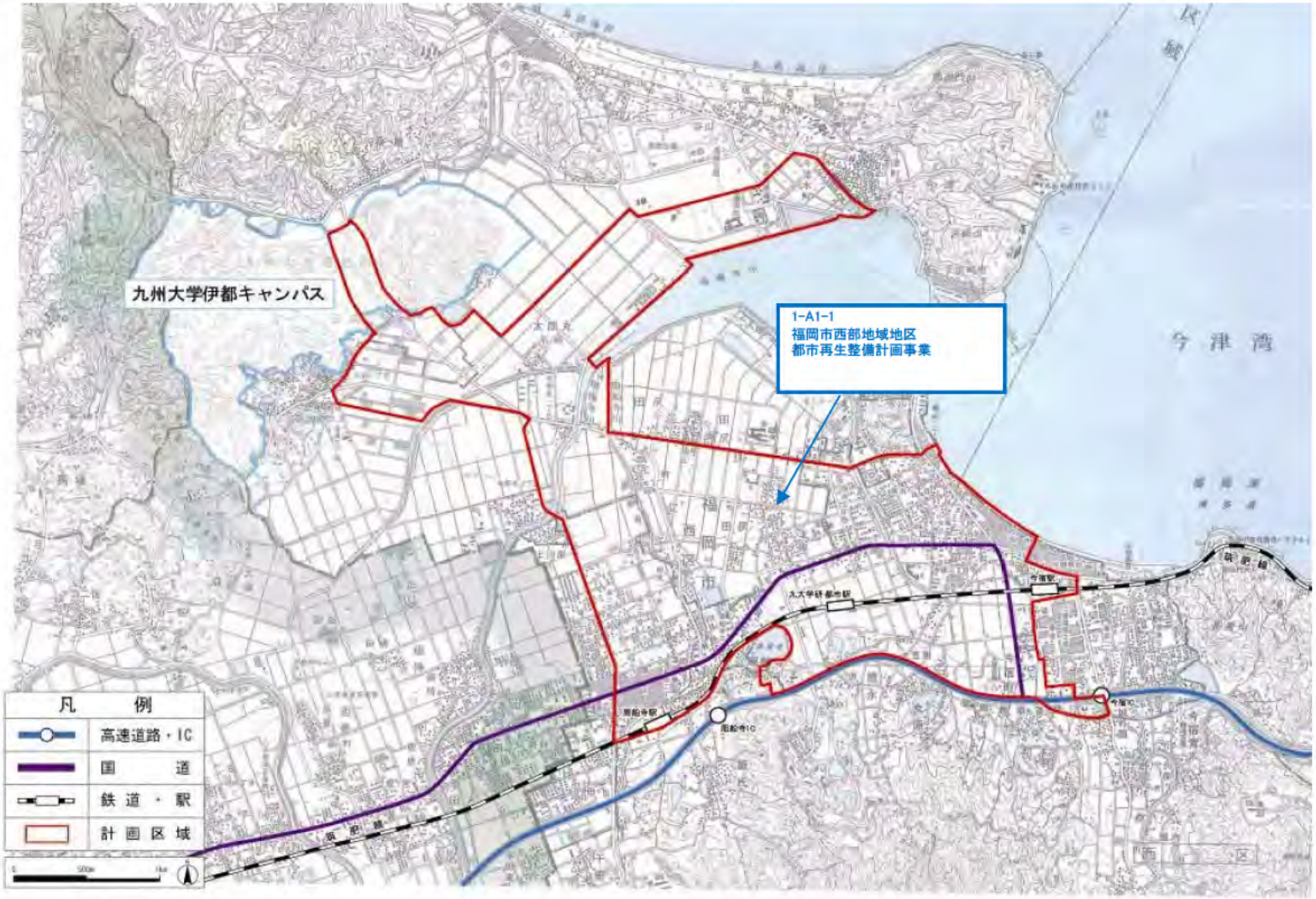
番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

その他関連する事業

事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考

（参考図面）　【計画の名称】 福岡市西部地域地区都市再生整備計画

【計画の期間】 平成23年度～平成27年度 （5年間）	【交付対象】 福岡市



都市再生整備計画（第6回変更）

福岡市西部地域地区

福岡県　福岡市

平成 27 年 1 月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	地区名	福岡市西部地域地区	面積	約720 ha

計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 27 年度	交付期間	平成 23 年度 ～ 平成 27 年度

目標

大目標 ： **知の創造空間"九州大学学術研究都市"の顔となる福岡市西部地域の拠点づくり**

目標１ ： 都市機能の高質化と交通結節機能の更なる強化により、九州大学学術研究都市の玄関口としてふさわしい地域拠点の形成をめざす
目標２ ： 九州大学の知的財産を活用し、知の交流・創造活動を軸とした産学連携・研究開発拠点の形成をめざす
目標３ ： 都市機能の充実による生活利便性の向上や更なる安全で快適なコミュニティ形成等により、計画地区における定住促進をめざす

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

○本地区は、福岡市の都心から西約15kmに位置し、広域交通幹線である国道202号、国道497号（西九州自動車道）、JR筑肥線が地区を横断している。周辺は海、山、田園景観など、豊かな自然環境に恵まれた地区である。
○平成17年９月には、九州大学の第１期移転に合わせ、本地区の玄関口としてJR九大学研都市駅が開設され、交通結節機能の強化が図られた。
○本地区を含む区域は、市の新・基本計画で新たな拠点地域に位置づけられており、平成13年６月に策定された「九州大学学術研究都市構想」を踏まえ、九州大学の統合移転を契機に、平成20年4月には「福岡市産学連携交流センター」が開設され、地元産学官による新たな学術研究都市づくりが進んでいる。
○九州大学新キャンパスの整備に加え、関連する道路網整備や土地区画整理事業による宅地開発が進行中であり、学生・教職員や新規住宅購入者等による人口増加が著しい。
○平成21年4月には九州大学の第2期移転が完了し、学生・教職員合わせて約1万800人が移転している。平成30年度には約１万8,700人が伊都キャンパスに移転する予定である。
○平成22年7月にはJR九大学研都市駅南側に、西部地域交流センターと西区西部出張所と西部図書館が複合された施設「さいとぴあ」が開設された。

課題

・新たな拠点である「地域交流センター」や「産学連携交流センター」等の整備により、まちの賑わいや産学連携の強化が図られたが、今後も定住人口の増加や企業進出等が見込まれることから、賑わいの持続やさらなる産学連携の取り組みの強化を図る必要がある。
・第一期都市再生整備計画事業により、一定の都市基盤整備は図られたが、全体事業としては一部未完成であり、安全で快適な定住環境の充実のため、伊都土地区画整理事業の早期完成が必要である。また、増加するJR九大学研都市駅利用者の利便性向上に資する交通結節機能の強化が必要である。
・急激な定住人口の増加や留学生や研究者との国際的な人的交流の促進に伴い、コミュニティ活動の支援や学校施設をはじめとした生活基盤施設の拡充等が必要である。
・安全で快適な都市基盤整備のため、九州大学とJR九大学研都市駅を結ぶアクセス道路の整備を継続して実施する必要がある。

将来ビジョン（中長期）

[福岡市　新・基本計画(全市編)：平成15年3月](目標年次：2015年)※1
『自由かつ達で人輝く自治都市・福岡をめざして　～九州、そしてアジアの中で～』を新しい福岡づくりの基本方向とし、多核連携型都市づくりを推進
◆今宿・周船寺：地域拠点
土地区画整理事業やJR新駅の開設を契機に、西部地域の新たな核として、また、学術研究都市の玄関口として、交通結節機能の強化や地域交流センターの整備、商業機能の充実をめざす。
◆西部地域(九州大学～今宿・周船寺)：新たな拠点地域
九州大学を核とした学術・研究機能が集積し、学生や教職員、民間企業を含めた研究者等が、豊かな自然環境のなかで新たな知を創造し、発信する学術研究都市づくりを進め、今宿・周船寺地区との連携を図りながら、本市西部地域における新たな拠点地域の形成をめざす。

[福岡市　新・基本計画(西区基本計画)：平成15年3月](目標年次：2015年)※1
～三つの宝「自然」「市民」「大学」で～ 1．美しい水が"循環"し、 2．ぬくもりのある心が"交歓"し、 3．魅力ある町に"転換"する を将来像とし、主要プロジェクトとして
①「タウン・オン・キャンパス」の展開・・・学術研究都市の"顔""シンボル"として、研究開発、国際交流、地域との連携や居住などの多様な機能の導入
②拠点間の連携強化・・・今宿・周船寺につながるアクセス道路整備、JR新駅の設置
③新たな市街地の形成・・・伊都土地区画整理事業によるアメニティ空間の創出、及び学術研究都市の玄関口として交通結節機能の強化や商業機能の充実、田尻土地区画整理事業による大学関係者などの居住地形成

[福岡市都市計画マスタープラン(西区版)：平成13年5月]※2
○JR新駅を中心とした地区を準地域中心核と位置づけ、地域交流センター等の複合施設や行政サービス、商業等の機能が集積した西部地域の拠点としている。
○今宿・周船寺地区～九州大学新キャンパス間については、農業・集落ゾーン、低層住宅ゾーン、さらに学園通沿道についてはプロジェクトと連携しながら将来像を検討するゾーンと位置づけている。

[九州大学学術研究都市構想：平成13年6月]
福岡市から唐津市に至る玄海灘に面するゾーンを対象エリアに、「知の創造空間」の構築に向け2つの核となる戦略で構成
◆ソフト戦略 ：『知の交流・創造活動を促進する地域科学技術システムの構築』
◆ハード戦略 ：『知・住・悠の舞台となる快適空間の形成』
※1：第9次福岡市基本計画（平成24年12月改定） ※2：福岡市都市計画マスタープラン（平成26年5月改定）

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
駅利用者数	人/日	JR九大学研都市駅の１日あたりの乗降客数	都市機能の集積及び各種交流機会の創出により地区の玄関口である当駅の利用者数が増加する。	8,700	H21	10,600	H27
バス利用者数	人/日	昭和バス九州大学線の１日あたりのバス乗客数	交通結節機能の強化により地区の玄関口であるJR九大学研都市駅周辺のバスの利用者数が増加する。	2,050	H21	2,400	H27
民間等との共同研究実施件数	件/年	九州大学における民間等との共同研究実施件数	産学連携拠点づくりの推進により知の交流・創造活動が図られ、民間等との共同研究が増加する。	612	H21	646	H27
留学生数	人	九州大学に在学する留学生数	産学連携の拠点づくりが推進されることにより、国際交流が活発化することで留学生数が増加する。	1,509	H21	1,790	H27
人口の定着	人	地区内の居住人口	快適な居住空間の創出により地区内人口が増加する。	27,100	H21	28,700	H27
公民館利用者数	人/年	地区内公民館1館あたりの年平均利用者数	コミュニティ活動の拠点である公民館の利用者数が減少傾向にあるため、新たに快適で利便性の高い公民館を整備することで、地区内の公民館利用者数の減少に歯止めを掛け現状維持する。	26,200	H21	26,200	H27

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針１　：　西部地域の新たな拠点形成のための都市機能の高質化や交通結節機能の強化を図る。 ・本市西部地域の新たな拠点づくりのため、土地区画整理事業等の面的整備を推進し、都市機能の高質化やアメニティ空間の創出を図る。 ・九州大学と地域の玄関口である九大学研都市駅周辺を連携する幹線道路整備を推進し、交通結節機能の強化と都市交通の円滑化を図る。 ・公共交通機関利用者の利便性を向上させるため、アクセス道路の整備や歩行者支援施設の整備を図る。	・道路事業（基幹事業/学園通線（田尻）、福岡志摩線（元浜）、今津埋立場周辺道路） ・道路事業（関連事業/大原周船寺停車場線（周船寺駅前交差点）、福岡志摩線（田尻）） ・伊都土地区画整理事業（基幹事業・関連事業） ・元岡土地区画整理事業（関連事業） ・第二産学連携交流センター（提案事業） ・有機光エレクトロニクス産学連携実用化基盤センター（提案事業） ・産学官連携支援活動（広報・啓発・人材育成）（関連事業） ・大学と地域の連携・交流促進事業（関連事業） ・九州大学外国人研究者等宿泊・集会施設整備事業（関連事業） ・地域生活基盤施設（基幹事業/九大学研都市駅自転車駐車場） ・地域生活基盤施設（基幹事業/山の鼻1号墳）
整備方針２　：　九州大学学術研究都市を中心とした産学連携を充実するための拠点施設の整備促進や産学連携の活性化を図る。 ・本市における産学連携の先導的施設である産学連携交流センターの機能・規模を拡充した第二産学連携交流センター及び有機光エレクトロニクスの最先端の研究成果を産業界に橋渡しする拠点施設である有機光エレクトロニクス産学連携実用化基盤センター（仮称）を整備することで、企業・研究機関の立地等の促進や研究開発機能の高度化、新たな産業・技術の創出等、地域産業の振興を図る。 ・九州大学を中心に産学官との連携や地域との交流を推進するための広報、啓発、人材育成、イベント等を行い、大学や企業の社会貢献を促すとともに、市民生活の質の向上を図る。	・第二産学連携交流センター（提案事業） ・有機光エレクトロニクス産学連携実用化基盤センター（提案事業） ・伊都土地区画整理事業（基幹事業・関連事業） ・元岡土地区画整理事業（関連事業） ・産学官連携支援活動（広報・啓発・人材育成）（関連事業） ・大学と地域の連携・交流促進事業（関連事業） ・九州大学外国人研究者等宿泊・集会施設整備事業（関連事業） ・道路事業（基幹事業/学園通線（田尻）、福岡志摩線（元浜）） ・道路事業（関連事業/大原周船寺停車場線（周船寺駅前交差点）、福岡志摩線（田尻）） ・地域生活基盤施設（基幹事業/九大学研都市駅自転車駐車場）
整備方針３　：　地域コミュニティの拠点づくりと快適居住環境の整備推進を図る。 ・土地区画整理事業・道路整備等の安全で快適な居住環境を創出する都市基盤整備を進め、地区居住者の生活利便性の向上を図る。 ・公民館等をはじめとした地域生活基盤施設の整備を進め、地域コミュニティの活性化や大学と地域の連携・交流促進を図る。	・高次都市施設（基幹事業/公民館（今宿、玄洋）） ・伊都土地区画整理事業（基幹事業・関連事業） ・元岡土地区画整理事業（関連事業） ・道路事業（基幹事業/学園通線（田尻）、福岡志摩線（元浜）、今津埋立場周辺道路） ・道路事業（関連事業/大原周船寺停車場線（周船寺駅前交差点）、福岡志摩線（田尻）） ・公園（基幹事業/伊都2号公園） ・地域創造支援事業（提案事業/老人いこいの家（今宿、玄洋）） ・大学と地域の連携・交流促進事業（関連事業） ・九州大学外国人研究者等宿泊・集会施設整備事業（関連事業） ・地域生活基盤施設（基幹事業/九大学研都市駅自転車駐車場） ・地域生活基盤施設（基幹事業/山の鼻1号墳）

その他

平成13年6月　：　九州大学学術研究都市構想の策定
平成16年6月　：　地域再生計画の認定

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	8,218.9	交付限度額	3,287.5	国費率	0.40
うち、社会資本整備総合交付金対象事業　計	6,961.4	うち、社会資本整備総合交付金対象事業　計	2,784.5		
うち、地域自主戦略交付金対象事業　計	1,257.5	うち、地域自主戦略交付金対象事業　計	503.0		

（金額の単位は百万円）

基幹事業①社会資本整備総合交付金

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
道路		学園通線（田尻）	福岡市	直	L＝1,360m	H23	H28	H23	H27	4,356.0	2,774.3	2,774.3	0.0	2,774.3	
道路		福岡志摩線（元浜）	福岡市	直	L＝980m	H23	H27	H23	H27	597.7	464.3	464.3	0.0	464.3	
道路		今津埋立場周辺道路	福岡市	直	L＝850m	H23	H26	H23	H26	158.4	135.9	135.9	0.0	135.9	
公園															
古都及び緑地保全事業															
河川															
下水道		－			－										
駐車場有効利用システム		－			－										
地域生活基盤施設		九大学研都市駅自転車駐車場	福岡市	直	自転車駐車場1,300台	H26	H27	H26	H27	161.5	161.5	161.5	0.0	161.5	
地域生活基盤施設		山の鼻1号墳	福岡市	直	6,913㎡	H27	H27	H27	H27	68.8	68.8	68.8	0.0	68.8	
高質空間形成施設															
高次都市施設	地域交流センター	公民館（今宿、玄洋）	福岡市	直	－	H24	H27	H24	H27	417.1	417.1	417.1	0.0	417.1	
中心拠点誘導施設															
生活拠点誘導施設															
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業		伊都土地区画整理事業	福岡市	直	130.4ha	H9	H26	H23	H25	3,877.0	1,399.2	1,399.2	0.0	1,399.2	
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
地区再開発事業															
バリアフリー環境整備促進事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型														
	沿道等整備型														
	密集住宅市街地整備型														
	耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										9,636.5	5,421.1	5,421.1	0.0	5,421.1	…A'

基幹事業②地域自主戦略交付金

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
道路		学園通線（田尻）	福岡市	直	L＝1,360m	H23	H28	H24	H24	4,356.0	1,032.0	1,032.0	0.0	1,032.0	
道路		福岡志摩線（元浜）	福岡市	直	L＝980m	H23	H27	H24	H24	597.7	133.4	133.4	0.0	133.4	
道路		今津埋立場周辺道路	福岡市	直	L＝850m	H23	H26	H24	H24	158.4	22.5	22.5	0.0	22.5	
公園		伊都2号公園	福岡市	直	A=1.6ha	H23	H24	H24	H24	69.6	69.6	69.6	0.0	69.6	
河川															
下水道		－			－										
合計										5,181.7	1,257.5	1,257.5	0.0	1,257.5	…A''

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載　　※H24以降を記載　　※H24以降分を記載

基幹事業　総計（①＋②）

総計										14,818.2	6,678.6	6,678.6	0.0	6,678.6	…A=A'+A''

提案事業①社会資本整備総合交付金

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
地域創造支援事業	第二産学連携交流センター	元岡地区	福岡市	直	－	H23	H25	H23	H25	1,269.8	1,269.8	1,269.8	0.0	1,269.8	
	有機光エレクトロニクス産学連携実用化基盤センター	元岡地区	福岡市	直	－	H23	H23	H23	H23	211.2	211.2	211.2	0.0	211.2	
	老人いこいの家	今宿、玄洋	福岡市	直	－	H24	H27	H24	H27	54.8	54.8	54.8	0.0	54.8	
事業活用調査	効果発現調査	－	福岡市	直	－	H27	H27	H27	H27	4.5	4.5	4.5	0.0	4.5	
		－			－										
まちづくり活動推進事業		－			－										
		－			－										
合計										1,540.3	1,540.3	1,540.3	0.0	1,540.3	…B'

提案事業②地域自主戦略交付金

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
地域創造支援事業															
事業活用調査		－			－										
		－			－										
まちづくり活動推進事業		－			－										
		－			－										
合計										0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	…B''

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載　　※H24以降を記載　　※H24以降分を記載

提案事業　総計（①＋②）

総計										1,540.3	1,540.3	1,540.3	0.0	1,540.3	…B=B'+B''

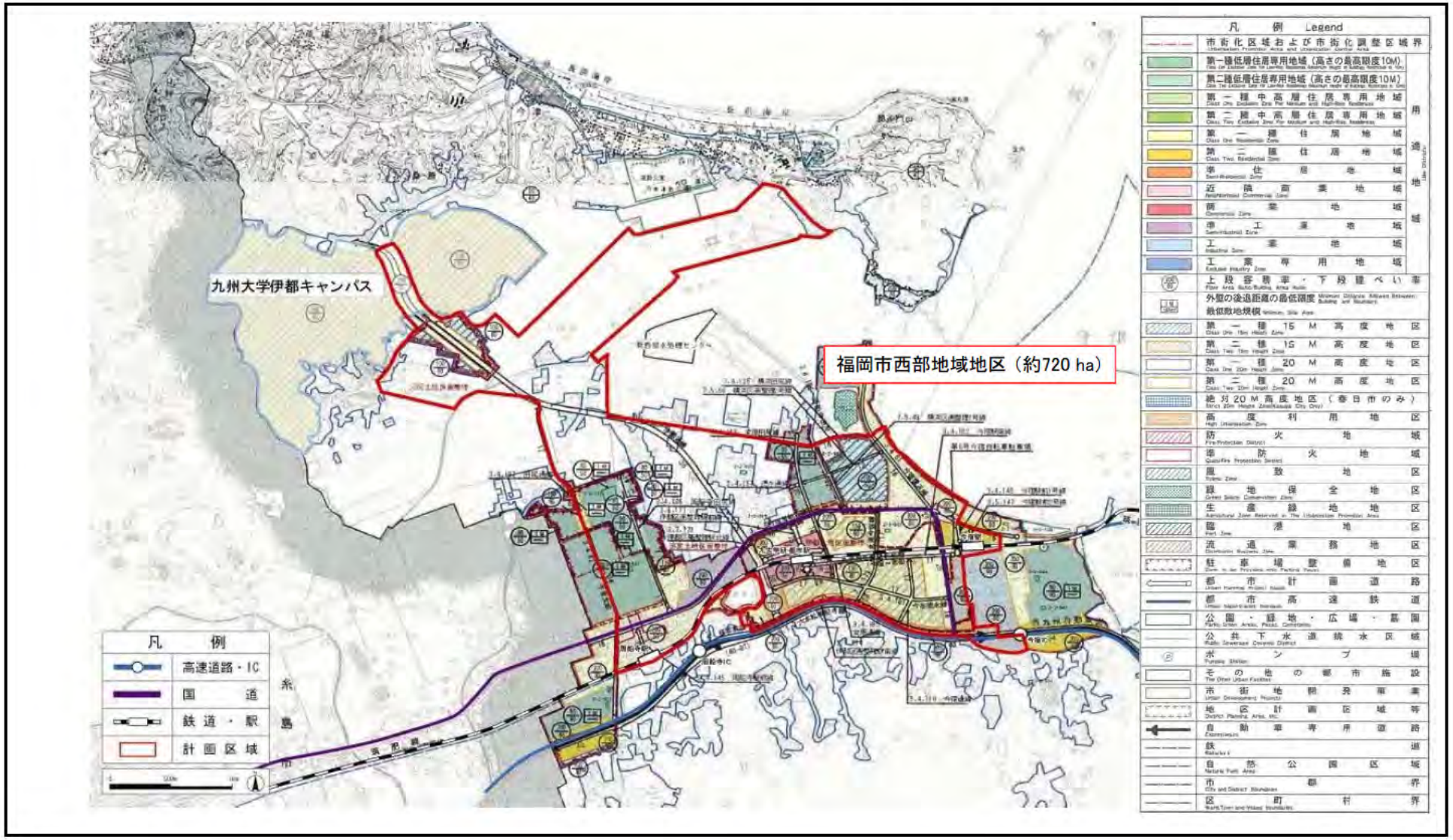
合計(A+B)	8,218.9

（参考）関連事業

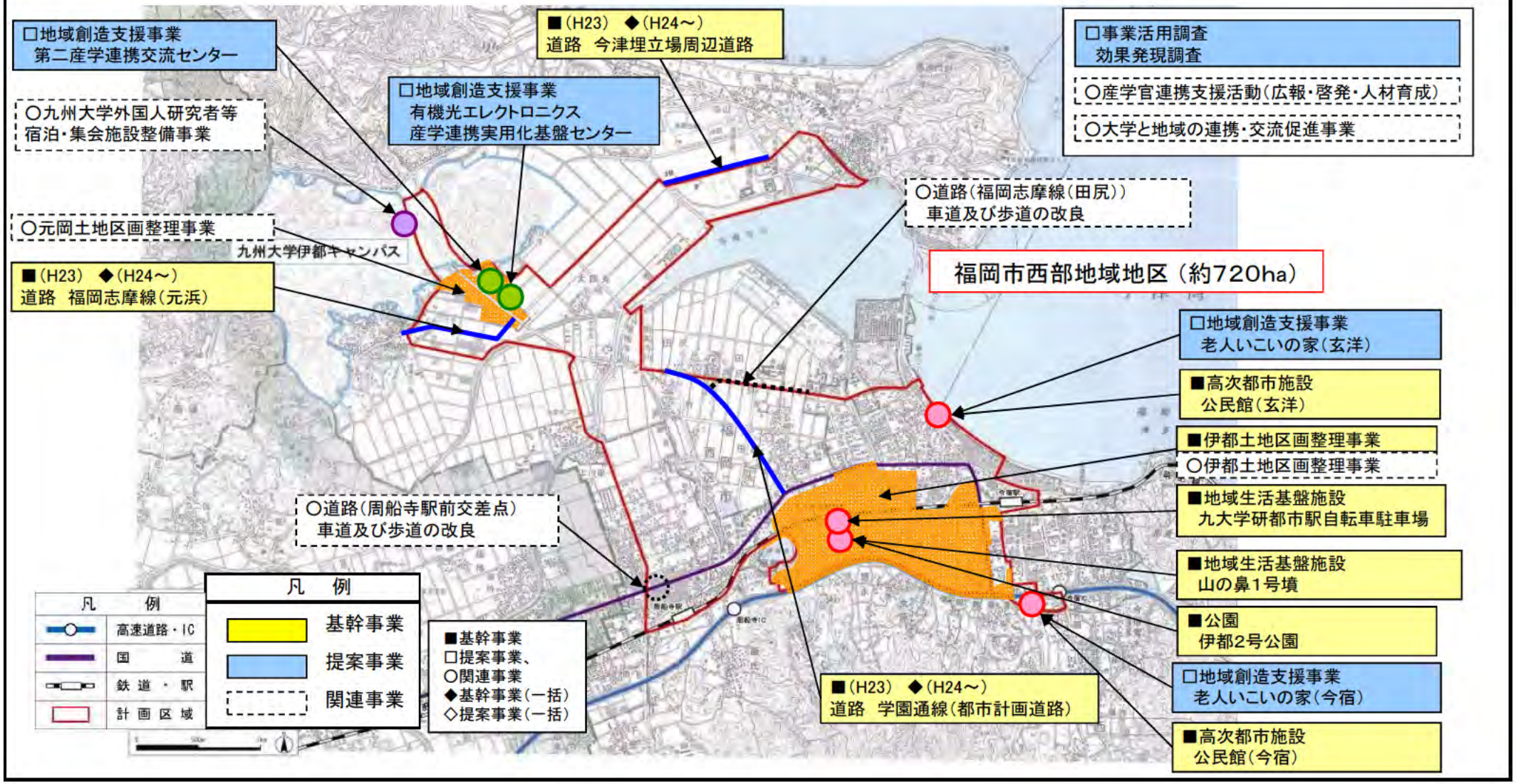
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに〇）直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	終了年度	全体事業費
伊都土地区画整理事業	西区徳永・女原・今宿地区等	福岡市	直	130.4ha		〇			H9	H26	36,823.0
元岡土地区画整理事業	元岡地区	元岡土地区画整理組合	間	16.2ha				〇	H21	H24	2,190.0
道路事業	大原周船寺停車場線（周船寺駅前交差点）	福岡市	直	L=160m		〇			H23	H27	846.0
道路事業	福岡志摩線（田尻）	福岡市	直	L=1,040m		〇			H24	H28	193.0
九州大学外国人研究者等宿泊・集会施設整備事業	元岡地区	九州大学	間	－		〇			H22	H23	570.0
産学官連携支援活動（広報・啓発・人材育成	計画地区全体	福岡市	直	－			〇		H10	継続的に実施	
大学と地域の連携・交流促進事業	計画地区全体	福岡市	直	－			〇		H10	継続的に実施	
有機光エレクトロニクス産学連携実用化基盤センター（仮称）整備事業	元岡地区	（財）福岡県産業・科学技術振興財団	間	－		〇		〇	H23	H24	952.7
合計											41,574.7

都市再生整備計画の区域

福岡市西部地域地区（福岡県福岡市）	面積	約720 ha	区域	西区横浜1,3丁目、今宿町1～3丁目、周船寺2,3丁目、泉2,3丁目、田尻1丁目、富士見2,3丁目、大字太郎丸、元浜1丁目および、今宿駅前、今宿東1丁目、今宿青木、今宿町、大字徳永、大字女原、大字千里、周船寺1丁目、大字田尻、太郎丸1,2丁目、大字元岡、大字桑原、今津の一部



福岡市西部地域地区（福岡県福岡市） 整備方針概要図

目標	大目標 ： 知の創造空間"九州大学学術研究都市"の顔となる福岡市西部地域の拠点づくり 目標1 ： 都市機能の高質化と交通結節機能の更なる強化により、九州大学学術研究都市の玄関口としてふさわしい地域拠点の形成をめざす 目標2 ： 九州大学の知的財産を活用し、知の交流・創造活動を軸とした産学連携・研究開発拠点の形成をめざす 目標3 ： 各種都市機能の充実による生活利便性の向上や更なる安全で快適なコミュニティ形成等により、計画地区における定住促進をめざす

代表的な指標						
駅利用者数	（人/日）	8,700	（H21年度）	→	10,600	（H27年度）
民間等との共同研究実施件数	（件/年）	612	（H21年度）	→	646	（H27年度）
人口の定着	（ 人 ）	27,100	（H21年度）	→	28,700	（H27年度）